

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 使用教科書： (高校生の美術 1 【 日文 】)

単位数： 単位 1

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生じ創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			能 賞	評価規準	知	思	感	時配 数値
		形	色	映						
オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の内容紹介 ・カッターナイフでの鉛筆削り	○	○	○					○	3
「平面構成デザイン」 【知識及び技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的に配色できるようにする。 ・形態の特質を理解し、構図に活かせるようにする。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて個性的な配色となるよう構想し、表現できるようにする。 ・各自の意図に応じて個性的な構図となるよう構想し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねさせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の商品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・色彩・配色の取り扱い方 ・形態・構図の取り扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方				【知識・技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的な配色ができていないか。 ・形態の特質を理解し、効果的な構図としてまとめあげているか。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いができていないか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図に応じて個性的な配色となるよう構想し、表現できているか。 ・各自の意図に応じて個性的な構図となるよう構想し、表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた表現への発想、構想、創意工夫に対する自覚的な言及、プレゼンテーションができていないか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。			○	○	9
「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き				○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術館・展覧会を調べ訪れ、能動的な鑑賞によって美的経験を得られているか。			○	2
「鉛筆静物デザイン」 【知識及び技能】 ・3次元の形態を観察し、2次元に表現できるようにする。 ・陰影描写による立体的表現ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自のモチーフを十分観察し、各自のもの見方で平面上に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図やもの見方に応じて、表現を十分探求させる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・観察に基づく描画の方法の段階的習得 ・材料用具（鉛筆）の取り扱い方	○			【知識・技能】 ・形が正確に取られているか。 ・陰影表現が十分なされているか。 ・質感・空間等の表現がなされているか。 【思考・判断力・表現】 ・知識・技能を踏まえ十分観察した上で、各個人に応じた個性的な表現がなされているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた表現への探求に関する自覚的な言及、プレゼンテーションができていないか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。			○	○	9
「レタリング、文字のデザイン、ロゴマーク」 【知識及び技能】 ・レタリングや文字のデザインの知識と方法を理解できるようにする。 ・ロゴマークの知識と方法を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図が最も生かされる発想・表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じて発想を試み、個性的な表現を追求させる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・意図（コンセプト）の設定、発想・構想の展開の方法 ・文字のデザイン（レタリングを含む）の表現 ・ロゴマークの表現	○			【知識・技能】 ・各自の意図に応じた発想・構想の方法を試みているか。 ・文字のデザインの方法を理解し、表現できているか。 ・ロゴマークの方法を理解し、表現できているか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図の表現への構想を重ねた上で、個性的な表現が開示されているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた発想・構想に関して自覚的な言及、プレゼンテーションができていないか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。			○	○	10
合計										
30										

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

芸術

科目

美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I

単位数： 単位 2

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (高校生の美術 1 【 日文 】)

教科 芸術

の目標：

【 知識 及び 技能 】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【 思考力、判断力、表現力等 】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【 学びに向かう力、人間性等 】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生じ創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	感	配 当 時 数		
		形 態	デ ザ イ ン	映 射								
オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の内容紹介									○	2	
1 学期 「文化祭ポスター」 【知識及び技能】 ・意図に応じた構図、配色が行えるようにする。 ・的確な文字のデザイン・レタリングができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現意図の設定、発想の方法、構想の方法を活用できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図を十分に表現するため、多方面からの探求を十分行わせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の商品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・発想、構想の展開方法 ・ヴィジュアルデザインにおける効果的な構成、配色の方法 ・デザインにおける文字の扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方	○	○	○						○	16	
2 学期 「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き				○						○	2
「ペットボトルのラベルデザイン」 【知識及び技能】 ・各自の意図に応じた多様な発想・構想の方法を理解できるようにする。 ・文字のデザインの知識と方法を理解できるようにする。 ・ロゴマークの知識と方法を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図が最も生かされる自由で多様な発想・表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じて、多様な発想を試み、個性的な表現を追求させる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の商品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・意図（コンセプト）の設定、発想・構想の展開の方法 ・文字のデザイン（レタリングを含む）の表現 ・ロゴマークの表現		○	○						○	14	
3 学期 「飲料品の広告ポスター」 【知識及び技能】 ・意図に応じた構図、配色が行えるようにする。 ・的確な文字のデザイン・レタリングができるようにする。 ・意図に応じたキャッチコピーの作成、及びその画面内での構成ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現意図の設定、発想の方法、構想の方法を活用できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図を十分に表現するため、多方面からの探求を十分行わせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の商品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・発想、構想の展開方法 ・ヴィジュアルデザインにおける効果的な構成、配色の方法 ・デザインにおける文字の扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方	○		○						○	14	
										合計	46	

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

芸術

科目

美術II

教科: 芸術 科目: 美術II

単位数: 単位 2

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組

使用教科書: (高校の美術2【日本文教出版】)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術II の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	感	配 当 時 数		
			絵 ・ 彫	デ ・ 映	鑑 賞							
1 学 期	オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の内容紹介								○	2	
	「自由制作」 【知識・技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現を工夫し、創造的に表現する。 【思考・判断力・表現】 ・意図を模索し、意図に応じた表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、創造的に作品制作に取り組む。	指導事項 ・計画的に制作させるため、導入部で制作計画書を記述させ、見直しを持った作品作りを行う。 ・意図に応じて、多様な表現方法を模索させる。				○	○	○	○			18
2 学 期	「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き									○	2
	「自由制作」 【知識・技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現を工夫し、創造的に表現する。 【思考・判断力・表現】 ・意図を模索し、意図に応じた表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、創造的に作品制作に取り組む。	指導事項 ・計画的に制作させるため、導入部で制作計画書を記述させ、見直しを持った作品作りを行う。 ・意図に応じて、多様な表現方法を模索させる。				○	○	○	○			20
3 学 期	「自由制作」 【知識・技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現を工夫し、創造的に表現する。 【思考・判断力・表現】 ・意図を模索し、意図に応じた表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、創造的に作品制作に取り組む。	指導事項 ・計画的に制作させるため、導入部で制作計画書を記述させ、見直しを持った作品作りを行う。 ・意図に応じて、多様な表現方法を模索させる。				○	○	○	○			6
											合 計	46